

# GIVEUP: 難解な問題に対する新手法

発表者：あ 指導教員：ああああ

## 1 はじめに

これまでの研究ではやたらめったら難しいことをする傾向にあり、それによる実験・実証の経済的・人的コストの増大が問題になっていた。我々はこの問題を解決すべく、GIVEUP (Google It. Vigorously, Effectively, Ultimately, Postpone it.) という手法を提案する。この手法の要点は次の通りである。

- まずはググる
- それで解決されない場合、力強く (vigorously)、実質的に (effectively)、最終的に (ultimately) 先延ばしにする
- いつか解決する

さあ、家に帰って寝よう！



図 1 : お先真っ暗である

## 2 方法

### 2.1 Google

Googleはいわずと知れた検索エンジンである。別にDuckDuckGoを使ってもかまわない（ただし名前がアホっぽいので、後述する実質的な先延ばしには向かないであろう）。

### 2.2 力強く (vigorously)

あくまで力強く先延ばしにしなければならない。これは撤退、ましてや失敗ではないのだ。ただ解決するまで粘り強く待っているだけなのである。

### 2.3 実質的に (effectively)

形式的にはどうであれ、実質的に先延ばしすることは、メンツを保ち先延ばしの期間を長期化することに有効であることが、俺[1]の研究でわかっている。今日も研究室に行って、何もしないでいよう。

情報系の読者諸君は、`/dev/ttyUSB0,`  
`/dev/urandom`を`cat`されたい。なにやらわけのわからない文字列が出ている。形式的な苦悩を再現するには、この文字列をにらみながらコーヒーをすすればいだろう。

```
000e16f0: f038 678e 9544 0034 0b77
000e1700: 0db9 13fa ea9a 3e84 a25b
000e1710: 2f10 e1f3 a5db 15f5 b314
000e1720: 1ce6 6f98 f81c 7659 3875
000e1730: 22e2 fe84 040f 491b 12e7
000e1740: cd86 02fa 8cc4 4052 ec8f
000e1750: 069a 75cd 8f46 29d5 d819
000e1760: 9946 0ace 7be5 e5d8 199d
000e1770: 7cf1 e163 630a f740 fb09
000e1780: da08 400e 9c0a 9987 460c
000e1790: a448 e083 b2fe 4b2b 9b0e
```

図 2 : なんかのデータ。なんだか読めそうではあるが、ホントはただのランダムなバイト列である。ふざけんな。そんなときこそ GIVEUP。

### 2.4 最終的に (ultimately)

途中で心が落ち着かなくなってきたり、誰かに進捗を聞かれたりするかもしれない。でも諦めるな！何か成果を出してしまったとしても、最終的にやたらめったら難しい問題を先延ばしにする。このことこそが肝心だ。

## 3 まとめ

僕はもう疲れました。アンパンマン

## 参考文献

[1]俺, すべてを来世に任せよう (後編), やけくそ学会, 2021